



ANNUAL REPORT 2025

活動報告書

2025.4 - 2026.3



一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)



もくじ

ご挨拶.....	P.3
2025 年度のトピック	P.4-5
会計のご報告	P.6-7
寄付のご報告	P.8-15
事業のご報告	P.16-19
ビジョン・ミッション	P.20
ご支援のお願い	P.21-23



ご挨拶

平素より、当協会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ビジネスの世界では「企業の寿命は30年」という言葉があります。社会情勢や環境が目まぐるしく変わるなかで、組織が輝き続けることの難しさを表した言葉です。しかし、私たちピティナは皆さまのあたたかいお力添えにより、その壁を二度越え、2026年度によいよ創立60周年を迎えることとなりました。

昨今、世界情勢の不確実性はさらに高まり、国内に目を向ければ「少子化」という避けられない課題に直面しております。年々、組織運営の難しさが増す時代ですが、現在の状況を10年前から見据え、段階的に進めてきた資金運用が確かに実を結んでおります。現在では、その運用益を有効に活用することで、私たちの使命である公益性の高い事業を支え続ける、強固な財務基盤を確立しております。

今後も現状に甘んじることなく様々な工夫を凝らし、新たな価値を生み出し、確かな「稼ぐ力」へと育てながら、公益事業を発展させます。

この先の見えづらい時代において、ピティナは次世代へとバトンを渡すべく専務理事の交代を予定しております。社会がどのように変化しようとも、これまでの60年を支えてくださった会員の皆さまとともに、さらにもう30年、音楽を通じた豊かな社会の実現に向けて、力強く歩んでまいります。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 専務理事

福田成康



2025年度のトピック

ロート製薬との協業初開催 ピアノ・コンチェルト鑑賞コンサート



「音楽がつなげる豊かな人生」の実現を目指すピティナと、「Well-beingの追求」を掲げるロート製薬。両者の志が響き合い、2025年6月8日、大阪のロート会館にて初の協同事業となる「ピアノ・コンチェルト鑑賞コンサート」を開催しました。

本企画は、企業・団体・自治体が連携し、音楽で地域に「つながり」を育む文化振興モデルとして構想されました。ロート製薬本社がある生野区を拠点に、地域の子どもたちへ一流の生演奏を届けるとともに、若手ピアニストへ不可欠な「協奏曲の演奏経験」という実践の場を提供することを目的としています。初回は楽器紹介や参加型企画を織り交ぜ、オーケストラとの共演プロセスを可視化することで、「初めてのコンチェルト」を多角的に学ぶ工夫を凝らしました。



当日は2024年度特級グランプリの南杏佳さんと関西フィルハーモニー管弦楽団を迎え、無料招待の小学生約200名を含む500名以上で満席となりました。企業の施設を地域社会に開き、世代を超えて音楽体験を共有したこの試みは、来場者からも「音楽の仕組みを身近に感じた」と高い評価を得ています。

なお、2026年6月7日の第2回公演を経て、8月30日にはザ・シンフォニーホールにて「特級グランド・コンチェルト2026」での協業として、ロート製薬協賛による新作コンチェルトの世界初演も予定されています。

特級セミファイナルに室内楽を導入



2025年度の「特級」では、新たにセミファイナルへ室内楽課題が導入されました。導入の最大の理由は、ピアニストの「音楽をより深く多面的に理解し表現する力」を養うためです。前年に開催されたミュンヘン・フィルメンバーとのマスタークラスにおいて、他楽器の一流奏者との共演が若き演奏家にどれほど良質な成果や成長をもたらすかを目の当たりにしたことが、変革への大きな原動力となりました。

これに伴い、室内楽経験の浅い出場者をサポートする「室内楽研修会」を事前に開催しました。17名が参加し、アンサンブルの基礎から自身のアイデアを他楽器と共に実現していくノウハウを学びました。

セミファイナル本番では、ドイツの名門オーケストラで活躍する世界的な弦楽器奏者を共演者に迎えました。出場者6名がモーツァルトのピアノ四重奏曲を演奏し、互いの音楽性が結実する圧倒的なアンサンブル体験となりました。なお、一連のプロジェクトは文化庁の助成を受けて実施されています。



全国大会祝賀会を6年ぶりに開催

8月22日、ANA インターコンチネンタルホテル東京にて、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会祝賀会を6年ぶりに開催いたしました。コロナ禍を経ての待望の開催となり、全国大会参加者や指導者、来賓など総勢1,100名以上が集う盛大な会となりました。会の中では各種表彰式が執り行われました。今年度夏および前年度春の指導者賞・新人指導者賞の表彰式には246名が出席し、初受賞の尾池祐香先生（指導会員）が代表して表彰を受けられました。また、ソロ部門A1～F級すべてに参加した方を讃える「A1～F級コンプリート賞」の表彰式も行われ、今年度は144名が受賞しました。会場のあちこちで記念撮影や指導者・参加者同士の活発な交流が行われ、コロナ禍を経ての再会や受賞を喜ぶ合う皆さまの熱気と笑顔に包まれたひとときとなりました。



ヤマハ株式会社との研究協力体制を構築

2025年11月より、ピティナはヤマハ株式会社との間で、ピアノ演奏計測に関する新たな共同研究を開始しました。この研究協力体制は、レッスンや練習過程における演奏データの記録・分析を通じ、ピアノ教育の新たな可能性を探求するものです。

本プロジェクトの拠点となるピティナ本部事務局内の「東音ホール」には、自動演奏機能付きピアノ「S6X Disklavier」が新たに導入されました。このシステムにより、鍵盤のタッチやペダリングといった演奏データに加え、カメラ映像や高音質マイクによる音の記録を同期して収集することが可能です。

今後は、ピティナの持つ教育リソースとヤマハの技術を組み合わせ、練習過程における習熟度の定量的評価や指導効果の分析などを進めてまいります。これにより、数値だけでは捉えきれない表現の奥行きや音楽が成り立つ仕組みに科学的な視点から迫り、得られた知見を指導・演奏活動のサポートとして会員の皆さまへ還元していくことを目指します。

特級受賞者×ショパン国際ピアノコンクール

～過去から未来へつながっていく～

第19回ショパン国際ピアノコンクールがポーランドのワルシャワで開催され、日本から出場した桑原志織さん（2013年特級銀賞）が見事第4位に入賞しました。また、進藤実優さん（2021年特級銀賞）も本選に進出し、オーケストラとコンチェルトを共演する快挙を遂げました。ピティナでは、現地からnoteや公式Xを通じて詳細なレポートやインタビューを発信し、コンクールの熱気を日本のピアノファンに届けました。



コンクール期間中の10月8日には、サントリーホールにて「日本フィル×ピティナ ショパン・コンサート」を共催しました。ショパンコンクール入賞者である横山幸雄氏の指揮のもと、関本昌平氏（2003年特級グランプリ）や古海行子氏（2018年特級銅賞）、そして2025年の特級グランプリに輝いた稲沢朋華さんが出演し、ショパンの協奏曲などを披露しました。ショパン国際コンクールという世界最高峰の舞台を軸に、ワルシャワで新たな歴史を刻んだ現役の挑戦者たちと、かつてその道を切り拓いた歴代の入賞者たち、そして特級が生み出してきた新旧の才能が時代を超えて響き合う、ピティナの歩みと未来が鮮やかに交錯するひとときとなりました。

コンペ 50 回の幕開け課題曲説明会の3日間開催

第50回ピティナ・ピアノコンペティションの幕開けとして、3月1日から3日間にわたり課題曲説明会を開催いたしました。今年はコンペティション開催50回を記念し、オンライン配信と実地での特別セミナーを組み合わせた充実の3日間となりました。

初日の3月1日には、課題曲発表当日にオンラインプレミアム配信を実施。豪華講師陣によるソロ部門（A1～D級）とデュオ部門（連弾初級B～中級B）の丁寧な楽曲解説をお届けし、約750名の方にご視聴いただきました。

続く3月2日・3日の2日間は、ベルサール虎ノ門ホールにて特別セミナーを開催し、約280名が来場しました。オンライン配信を踏まえ、生音で表現の可能性を深掘りする「+α解説」や歴代特級グランプリによるトークコンサートが行われました。さらに、導入期レッスンやアンサンブル指導、コンペ活用法に関するセミナー、審査員アドバイザー連絡会なども実施され、課題曲の枠を超えてピアノ指導を多角的に学ぶ貴重な機会となりました。

2025 年度特級グランプリ

ピティナ・ピアノコンペティションの頂点「特級」。2025年度は、香川県三豊市出身の稲沢朋華さんが、四国出身者として初のグランプリに輝きました。現在は桐朋学園大学院にて研鑽を積む稲沢さんは、特級での快挙に加え、これまでの継続的な活動が評価され、令和7年度「香川県文化芸術新人賞」を受賞しました。



受賞後は、サントリーホールでの日本フィルハーモニー交響楽団との共演や、大阪・関西万博ポーランドパビリオンでの演奏を経験したほか、全国各地で開催された入賞者記念コンサートに数多く出演するなど、活動の幅を広げています。令和8年度は5月に東山魁夷せとうち美術館でのリサイタル、6月には三豊市市制施行20周年記念事業「夢をつなぐ音楽会」にて瀬戸フィルハーモニー交響楽団と共演するなど、地元・香川での公演も控えています。

各地での演奏活動を通じて自身の研鑽を深めるとともに、その真摯な姿勢は次世代を担う子どもたちへも大きな影響を与えています。会員の皆さまには、今後も特級グランプリとして歩みを進める稲沢さんの活動を、温かく応援いただければ幸いです。

I 会計のご報告

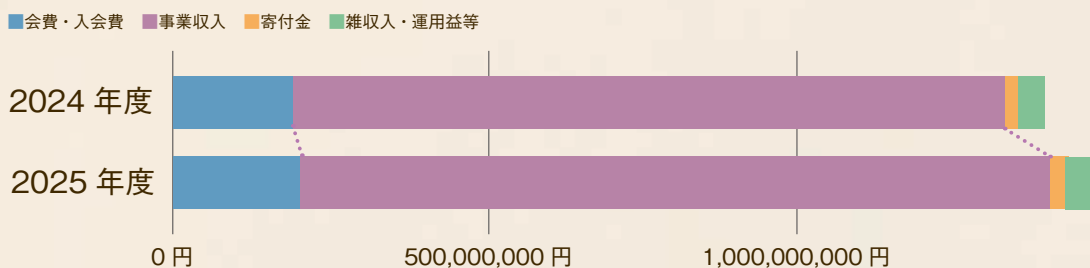
収入 1,421,122,042 円

コンペティションの参加者数は近年減少傾向にあり、事業収益の維持・拡大には継続的な工夫が求められています。2025年度は、コンペティションの本選進出規定の見直しを実施した結果、全体の参加者数は減少したものの、収益面では増加へと転じました。また、新たな事業収入の柱として成長しつつある「提携コンクール」は、申込人数が3万人を突破し、当協会の活動基盤を力強く支えています。

会費・入会費	154,920,000 円
事業収益	1,199,868,671 円
寄付金	14,938,708 円
雑収入・運用益	51,394,663 円
合計	1,421,122,042 円

2026年度は「課題曲チャレンジ」の通年開催を予定しており、ピアノ学習者の皆さまがアドバイスを受けられるステージの機会を拡充するとともに、さらなる参加者数の増加を目指してまいります。

一方、昨今の社会情勢や環境の変化もあり、会費・入会費および事業収益のみで協会の事業全般を運営することは、徐々に難しくなってきたのが実情です。現在は、皆さまからのあたたかいご寄付や、助成金・補助金の活用、そして資産の運用益に支えられながら、活動を続けてきている状態です。今後も公益性の高い事業を安定して提供していくため、新たな収入源となる新規事業や市場の開拓にも積極的に取り組んでまいります。



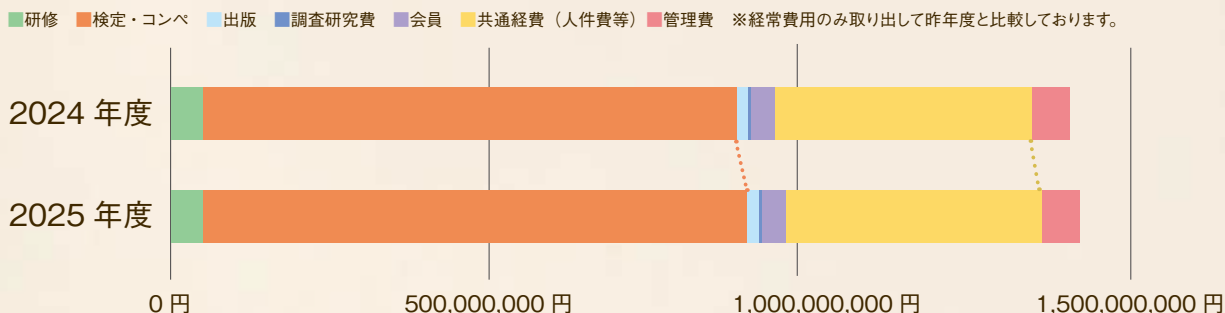
支出 1,392,830,221 円

物価高騰に伴い、人件費、郵送費、資材費、旅費交通費などの各種経費は年々上昇を続けております。しかしながら、皆さまのご支援と、事務局をあげての経費削減・事務効率化への取り組みにより、今年度も無事に黒字の収支を報告することができました。

なお、2025年度は会員の皆さまの交流の場としてコンペティション全国大会の「祝賀会」を復活させたことなどにより、支出の総額自体は例年よりも増加しております。

無駄を省き、会員の皆さまへの還元を最優先に資源を投じることが、一般社団法人として私たちが最も大切にすべき使命だと考えています。今後もAIなどの最新技術を積極的に活用して事務効率化を図り、そこで生み出された資金を会員の皆さまへのサービス向上へと還元したいと考えています。

研修:セミナー・eラーニング・入賞者記念コンサート・トークコンサート等	56,177,668 円
検定コンペ:コンペティション・ステップ・指導者ライセンス・提携コンクール等	876,062,113 円
出版:アナリーゼ楽譜・ミュッセ等	3,609,570 円
その他収益事業	138,454 円
調査研究費:教室紹介・ピアノ曲事典・調査研究等	7,850,567 円
公益事業:学校クラスコンサート、寄付広報等	824,940 円
会員:会報・組織運営等	27,912,101 円
音楽教育研究所	7,670,634 円
共通経費(人件費等)	334,023,046 円
管理費	78,561,128 円
合計	1,392,830,221 円



収支 (評価損益調整前経常増減額) 28,291,821 円 (昨年: 264,834 円)

貸借対照表要旨

単位：円

		科目	当年度金額
資産の部	1. 流動資産	現金預金	408,113,030
		有価証券	315,743,207
		未収金・その他	37,640,877
	2. 固定資産	基本財産	100,000,000
		特定資産	312,501,718
その他固定資産		51,543,157	
資産合計			1,225,541,989
負債の部	流動負債	前受金	197,887,335
		未払金・その他	89,007,125
	負債合計		
正味財産の部	1. 指定正味財産	受取寄付金	10,000,000
		(うち基本財産への充当)	10,000,000
		(うち特定資産への充当)	0
	2. 一般正味財産	一般正味財産	928,647,529
		(うち基本財産への充当)	90,000,000
(うち特定資産への充当)		312,501,718	
正味財産合計			938,647,529
負債および正味財産合計			1,225,541,989

正味財産増減計算書要旨

単位：円

I：一般正味財産増減の部				
経常増減の部	1. 経常収益	会費・入会費		154,920,000
		事業収益		1,199,868,671
		寄付金		14,938,708
		雑収入・運用益		51,394,663
	経常収益計			1,421,122,042
	2. 経常費用	事業費（直接経費）	研修	56,177,668
			検定コンペ	876,062,113
			出版	3,609,570
			その他収益事業	138,454
			調査研究費	7,850,567
			公益事業	824,940
			会員	27,912,101
		音楽教育研究所	7,670,634	
	共通経費（人件費等）		334,023,046	
管理費		78,561,128		
経常費用計			1,392,830,221	
評価損益調整前経常増減額（①－②）			28,291,821	
有価証券評価損益			56,232,670	
当期経常増減額（①－②＋③）			84,524,491	
経常外増減の部	1. 経常外収益	固定資産売却益	10,999,999	
	2. 経常外費用		0	
	当期経常外増減額（⑤－⑥）		10,999,999	
法人税・住民税・事業税			70,000	
当期一般正味財産増減額（④＋⑦－⑧）			95,454,490	
一般正味財産期首残高			833,193,039	
一般正味財産期末残高（⑨＋⑩）			928,647,529	

II：指定正味財産増減の部	
基本運用益	13,380
受取寄付金	0
一般正味財産への振替	13,380
当期指定正味財産増減額（⑫＋⑬－⑭）	0

指定正味財産期首残高	10,000,000
指定正味財産期末残高（⑮＋⑯）	10,000,000

正味財産期末残高（⑪＋⑰）	938,647,529
---------------	-------------

協賛企業・協力企業の皆さま

2025年度のピティナ特級は、個人の皆さまからのご寄付に加え、企業の皆さまからも多方面にわたるご支援を賜りました。賞金や活動支援にとどまらず、演奏機会の創出、海外派遣、当日の運営、広報・制作、輸送など、若いピアニストの挑戦をさまざまな形で支えていただいています。

長谷工総合開発株式会社 様



長谷工総合開発

25年10月開催の日本フィル×ピティナ「ショパン・コンサート」にご協賛いただき、次世代を担う若手ピアニストのための「未来のピアニスト協賛シート」をご提供いただきました。

また長年にわたり、演奏家向け防音賃貸マンション「PLAY」シリーズのグランミュージズ・サロンへの会場提供や、若手ピアニストの演奏動画作成など多面的なご支援をいただいています。若き才能から大人の愛好家まで、世代を超えた音楽活動を力強く支え続けてくださっています。



株式会社 IHI 様



地域社会との共生と次世代人材の育成を掲げた社会貢献活動の一環として、「IHI ピアノコンサート」を継続的に開催いただいております。

第3回目を迎えた2025年12月の公演では、豊洲出身の子どもたちと特級グランプリの稲沢朋華さんが同じ舞台上に立ち、音楽を通じて地域社会と次世代の交流を促進する貴重な機会となりました。



株式会社三井住友銀行 様



特級2025へのご協賛に加え、特級ファイナル当日の運営にもご協力いただきました。

特に、聴衆賞の集計など、コンクールの大切な場面を支える実務面でもお力添えをいただき、来場者の皆さまとともに特級の舞台をつくる大きな支えとなりました。



共立ラインサービス株式会社 様



特級ファイナルを彩る「特級にスタンド花と祝電を」の取り組みに、2024年に引き続きご参加いただきました。また、ピアノ運送のプロフェッショナルとして、角野隼斗さんによる「UPRIGHT PIANO PROJECT」の全国へのピアノ輸送を担うなど、音楽を影から支える活動にも継続的にご協力いただいています。



LOT ポーランド航空 様・株式会社エイチ・アイ・エス 様



特級グランプリを毎年ポーランドの「ナウエンチュフ音楽祭」へ派遣しており、2026年度より新たに航空券をご提供いただけることとなりました。

2025年の実施では南杏佳さんが同音楽祭に参加してリサイタルやコンチェルトに出演し、貴重な海外での演奏経験を通じて音楽家として大きな研鑽を積み契機となりました。



ピティナの活動は、コンクールやコンサートの舞台だけで完結するものではありません。

子どもからプロを目指す若手、大人の愛好家にいたるまで、音楽とともに歩む多様な人生の過程には、多くの企業の皆さまの専門性を活かした多面的なご支援があります。2025年度も、こうした確かなパートナーシップに支えられ、音楽の力を社会、そして世界へとつなげる取り組みを広く展開することができました。

ご支援・ご協力を賜りました企業の皆さまに、心より御礼申し上げます。

ピアノ教室紹介

紹介件数
6,718件

ピアノを習いたい方と、生徒募集中のピティナ会員のピアノ教室との出会いを、専属の仲介スタッフが無料でお手伝いする「ピティナ・ピアノ教室紹介」。

ウェブサイト上のサービスであるため、多くの方の目に触れるための対策は不可欠です。以前はウェブサイトの検索エンジン対策を中心に行っていましたが、昨今のメディアの変化を踏まえ、現在は Instagram を入口とした導線強化と AIO (AI 検索最適化) などに注力しています。

2025 年度も引き続き、皆さまから頂戴したご寄付の一部は Instagram の広告掲載費として活用させていただきました。

今後も、より多くの方に「ピアノ教室紹介」をご利用いただけるよう、社会の変化に合わせた広報活動とシステム構築に尽力してまいります。



利用者からのコメント



なかなか教室を検索しても情報がなかったので、仲介していただく安心感がありました。またスタッフの方のメールもとても丁寧でした。



こちら側の必要な情報を、速やかに先生へお伝えいただいたおかげで、体験レッスンまでの流れがとてもスムーズでした。スタッフの方のご対応も素晴らしいと思いました。



家の近くでここしか教室がなかったので助かりました。個人宅だとなかなか見つけられないので、情報があったて助かります。

大抵の先生は他サイトでも募集をしていますが、信用のできる組織が間に入ることで先生側に安心感を提供できるので、良いと思いました。



統一した軸で先生の指導歴や生徒数、楽器環境を検索できるところが良かったです。



学校クラスコンサート

実施校数
45校

参加児童数
3,604名

参加アーティスト
34名
(楽器：9種類)

実施自治体
15市区町村

小学校の音楽室へコンサートを届けます。近い距離で生の演奏を体験し、楽器の周りに集まったり演奏者と共演するなど、子どもたちの発見と感動を促し豊かな音楽体験を育みます。2005年創設から21年間で、参加児童数は通算で約14.9万人に達しました。

いただいたご寄付は、学校クラスコンサートのアーティストの派遣、プログラム、レポートなど広報物の作成費用の補助として大切に使用させていただきます。今後もより多くの地域の子どもたちに音楽を届け、演奏者と生徒をつなぐのみならず、音楽文化を広め、人生に豊かな彩りを提供できるように努めてまいります。



レポートはこちら

参加児童の感想より

- ・ ベートーヴェンの「月光」を間近で聴いて、静かで少し悲しそうな気持ちになりました。はじめのゆっくりした音は、夜の湖に月がうつっているようで、とてもきれいだと思いました。音が小さくても、心に強くひびいてきました。この曲を聞いて、言葉がなくても音楽で気持ちを伝えられることがすごいと思いました。(高知市)
- ・ 音楽の受け取り方が、その時の気持ちや今までの経験から出るということを知って、深いなと思いました。「心を動かすって、自分を感じることもなんだな」と思いました。(練馬区)

学校の感想より

- ・ なんとと言っても生徒にとって幸せだったことは、間近に生演奏を聴けたことに加えて、演奏家と一緒に「音楽を体験する」機会があったことです。ふだん見せない表情が見えたり、素直なつぶやきが聞けたりと、このコンサートがとても有意義な時間であった証です。プロの演奏家とつながり、かかわり、学び合うことができた学校コンサート。最後に演奏家と生徒が一体となりつくりあげた「校歌」は感動的でした。(香取市)
- ・ 何よりも演奏者との距離が近く、間近で楽器や音色を感じ取れたことがよかったです。子どもたちは目の前で演奏してくれる姿に目がかがやかせていました。思わず体でリズムを取り、全身で音楽を楽しんでいました。特に、演奏中の楽器の構造を見せてもらっている時の子どもたちが、真剣な表情で興味深くのぞき込んでいたのがとても印象的でした。(泉南市)

保護者の感想より

生の演奏を聴かせていただき、子どもたちが思っていた以上に感動を受けているのが目に見えて分かりました。ある児童が途中、琴線に触れたのだと思いますが、本人も思いがけず涙が止まらなくなってしまったようで、何度も涙を拭いていました。直に目の前で深い音色に触れたことで、色々感じたのだと思います。そんな姿に、大人の私まで胸いっぱいになりました。とても素敵な時間でした。(川崎市)

ピアノ曲事典



新規音源(動画)数

1,208 件

新規解説文数

842 件

web アクセス数

660 万ページ

YouTube 再生数

2,295 万回

ピアノに携わる方々・音楽を愛好する方々のために、人物や楽曲、関連コンテンツの情報を網羅的に提供するオンラインのデータベースです。ピアノ学習者・指導者・演奏家をはじめ、音楽業界の方々に利用していただき、また、支援を受ける互恵関係を築いてきました。2002年の整備開始から20年を超え、世界有数の規模をもつクラシック音楽の楽曲データベースとなっています。



2025年度は英語版ページの提供を開始しました。中国をはじめとするアジアやヨーロッパ、南北アメリカなど、世界中から毎月数千以上のアクセスをいただいています。また、初めての試みとしてコンペティション課題曲選定委員による「課題曲紹介」を掲載するなど、指導に役立つコンテンツの充実を続けています。

今後はまず、より柔軟に開発できる設計とするため内部のシステム改革を進め、長年構想していたコメント機能の実装などを通じて、より身近で使いやすい事典を目指してまいります。

読み物・連載



新規公開記事

102 記事

ウェブサイトの読み物コーナーは2003年にはじまって以来、60近い連載記事を掲載し、そのうちのいくつかは書籍としても出版されています。また、会員による音楽実践のレポートや活動報告を「トピックス」や「会員・会友コラム」として紹介しています。

2025年度は2つの新連載を開始しました。音楽教育学者の甲斐万里子氏(正会員)が監修する『指導のいろは new』は、様々な分野の研究者が、それぞれの専門的な視点からピアノレッスンについて語る連載です。もう1つの新連載は、佐土原知子氏(正会員)による『ジャンルを超えて学ぶ!ピアノ教材にみる世界のリズム&スタイル』で、レッスン教材にもよく使われるジャズやラテン等のリズム・スタイルを解説します。

また、今年度は、連載記事の書籍出版も実現しました。丸山瑤子氏(研究会員)による連載『編曲と音楽、その歴史』が、アルテスパブリッシングより出版されました。

今後も、専門的な内容、指導に直接役立つ内容から一般向けの読み物まで、バランスよくお届けしてまいります。

音楽研究所



ピティナ音楽研究所、正式名称「一般社団法人全日本ピアノ指導者協会ピティナ音楽研究所、英名:PTNA Research Institute of Music (PRIM)」には、現在5名の非常勤研究員が所属し、活発に研究活動を行っています。

今年度、協力研究員の松川亜矢氏が、音楽大学卒業生のキャリアについての論文で、日本音楽教育学会第9回学会賞に選出されました。また、同じく協力研究員で、歴史的即興演奏を専門とする音楽学者の菅沼起一氏は、当協会副会長でピアニストの黒田亜樹氏とともに、装飾・即興に関するピアノ指導者向けセミナーを行い、好評を博しました。他の研究員も学会発表・論文投稿等を行っています。

2026年度は、東音ホールに導入したディスクラピア付きグランドピアノを使っでの研究活動も活発化する見込みです。引き続き、ピアノと音楽について研究を進め、音楽の意義を社会に発信してまいります。



詳細はこちら



特級クラウドファンディング ～資金活用のご報告～

2025年度は、5年目となる特級クラウドファンディングに挑戦しました。「若きピアニストの未来を応援し、その音色を全国へ届けたい」という想いのもと、183名の皆さまより、総額3,148,000円のご支援を賜りました。支援件数183件、達成率157%となり、多くの皆さまがこのプロジェクトを通して、若きピアニストたちへ温かな応援の気持ちを寄せてくださいました。

2025年度の特級は、7月26日の二次予選から8月22日のファイナル・表彰式まで、28日間にわたって開催されました。演奏のライブ配信、インタビューの視聴、オンライン聴衆賞への投票を通じて、多くの方が若きピアニストたちの挑戦を見守ってくださいました。ファイナル当日は、サントリーホールに1,746名の観客が来場し、YouTubeライブ配信では最大同時接続者数4,477名を記録するなど、会場とオンラインの双方から大きな声援が寄せられました。

最終結果は、グランプリ・稲沢朋華さん、銀賞・津野絢音さん、銅賞・加藤皓介さん、入選・高見真智さんとなりました。また、聴衆賞でも稲沢朋華さんが第1位を受賞し、会場・オンラインの双方から大きな支持を集めました。

クラウドファンディングのご支援

支援総額：3,148,000円／支援件数：183件／達成率：157%

2025年度も、クラウドファンディングを通じて多くの皆さまにご賛同いただきました。いただいたご支援は、オンライン配信の実現、オンライン聴衆賞の賞金、そして入賞者が全国各地でコンサート活動を行うためのサポートに大切に活用させていただきます。

オンライン聴衆賞は、7月26日の二次予選からファイナルまでの28日間、1日1票、二次予選進出者に投票できるオンライン参加型の聴衆賞として実施されました。演奏だけでなく、各奏者の歩みやストーリー、キャラクターにも触れながら「応援したい奏者」へ投票いただき、最終日までにのべ6,430票が寄せられました。

オンライン聴衆賞は、1位・稲沢朋華さん、2位・高見真智さん、3位・津野絢音さん、4位・加藤皓介さん、5位・仁宮花歌さん、6位・大西愛華さん、7位・上本壮真さんが受賞しました。稲沢さんは、グランプリ、会場での聴衆賞、オンライン聴衆賞をあわせて受賞し、オンライン聴衆賞創設以来初めての三冠となりました。



開催のご報告

特級活動報告会

2025年度は、特級ファイナル開催前に、サントリーホール・ブルーローズ（小ホール）にて「特級活動報告会」を開催しました。特級の活動に様々な形でご支援・ご協力いただいている企業・団体の皆さま、特級クラウドファンディングにご支援いただいている皆さま、特級ファイナルへお越しの皆さまにご来場いただき、特級が目指しているもの、各審査過程と受賞後の活動に込められた想いをお伝えしました。

報告会では、クラウドファンディングのご支援により実現した、この一年間の特級入賞者の全国・海外での活動をご紹介します。皆さまからのご支援が、一度のコンクールを支えるだけでなく、受賞後の演奏機会を広げ、若いピアニストが各地で音楽を届ける力となっていることを共有する時間となりました。

また、2024年度特級グランプリの南杏佳さんにもご登壇いただき、受賞後の活動をご報告いただくとともに、ご支援への御礼として演奏を披露していただきました。若いピアニストが特級を経て、どのように演奏の場を広げ、経験を積み重ねているのかを、支援者の皆さまに直接感じていただく機会となりました。



クラウドファンディング企画・ゲネプロ見学

2025年度は、クラウドファンディング支援者限定の体験型リターンとして、「南杏佳と聴く!特級ファイナルゲネプロ見学」も実施しました。ファイナリスト4名が、指揮者の大井剛史先生、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団とともに本番前の最終調整を行う様子を、支援者の皆さまに見学いただきました。

ゲネプロ見学に先立つプレトークでは、南杏佳さんが前年の特級ファイナルでの経験を振り返りながら、ゲネプロの見どころや、ピアニストと指揮者・オーケストラがどのように音楽をつくり上げていくのかについてお話しくださいました。華やかな本番の舞台の裏側にある音楽づくりの過程を、支援者の皆さまに間近で感じていただく貴重な機会となりました。



ご支援の使途

2025年度にご支援いただいた3,148,000円は、オンライン聴衆賞の賞金、ライブ配信補助費、クラウドファンディング経費、そして特級入賞者の活動サポート費として活用させていただきます。オンライン聴衆賞の賞金として690,000円、ライブ配信補助費として719,309円、クラウドファンディング経費として888,676円を充当し、残額に繰越金等を加えた906,264円を、活動サポート費として活用させていただいております。



各地の開催レポートは
こちら

活動サポート費は、マスタークラスへの派遣や、全国各地のコンサート出演機会の提供など、特級入賞者の国内外での活動を支えるために大切に活用させていただいております。公演や活動の様子についても、クラウドファンディングの活動報告ページ等を通じて、引き続きご報告してまいります。

日時	地域	公演名	演奏者
2025年10月5日	神奈川	みなとみらいピアノフェスティバル 2025	津野 絢音
2025年10月8日	東京	日本フィル×ビティナ ショパン・コンサート	稲沢 朋華
2025年10月10日	大阪	大阪・関西万博ポーランドパビリオン PWM コンサート&ワークショップ	稲沢 朋華
2025年10月12日	東京	スタインウェイ&サンズ東京 グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2025年10月24日	大阪	スタインウェイ&サンズ大阪 グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2025年11月14日	東京	IMA クラシックコンサート2025	稲沢 朋華
2025年11月16日	岡山	岡山支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2025年11月24日	岡崎	岡崎支部入賞者記念コンサート	加藤 皓介
2025年12月5日	東京	第3回 IHI ピアノコンサート	稲沢 朋華
2025年12月14日	兵庫	宝塚支部入賞者記念コンサート	南 杏佳
2025年12月17日	埼玉	草加市立松原小学校クラスコンサート	稲沢 朋華
2025年12月21日	長野	諏訪支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2025年12月21日	東京	ごほうびクラシック ピアノオールスターズIV	南 杏佳
2025年12月27日	沖縄	沖縄支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2025年12月27日	愛媛	松山支部入賞者記念コンサート	津野 絢音
2026年1月9日	香川	サンポートホール高松 グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年1月11日	広島	広島中央支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2026年1月18日	高知	高知支部入賞者記念コンサート	神原 雅治
2026年1月19日	高知	いの町立川内小学校クラスコンサート	神原 雅治
2026年1月22日	滋賀	滋賀支部総会ゲスト演奏	南 杏佳
2026年1月25日	神奈川	みなとみらい支部入賞者記念コンサート	加藤 皓介
2026年2月1日	兵庫	甲子園支部入賞者記念コンサート	津野 絢音
2026年2月8日	大阪	すばるホール グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年2月11日	千葉	特級ガラコンサート	稲沢 朋華・津野 絢音・ 加藤 皓介・高見 真智人
2026年2月15日	愛知	名古屋栄支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2026年2月22日	石川	金沢西支部入賞者記念コンサート	加藤 皓介
2026年2月22日	北海道	道央胆振支部入賞者記念コンサート	津野 絢音
2026年2月23日	愛媛	愛媛県支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2026年2月28日	福井	福井支部入賞者記念コンサート	津野 絢音
2026年3月15日	東京	町田支部入賞者記念コンサート	高見 真智人
2026年3月21日	東京	第49回ビティナ・ピアノコンペティション入賞者記念コンサート	稲沢 朋華・津野 絢音・南 杏佳
2026年3月22日	東京	町田支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2026年3月23日	東京	La Salle F 1 周年記念コンサート	稲沢 朋華
2026年3月29日	鳥取	鳥取県支部入賞者記念コンサート	稲沢 朋華
2026年4月11日	大阪	ヤマハグランドピアノサロン大阪 グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年4月12日	愛知	ヤマハグランドピアノサロン名古屋 グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年4月24日	神奈川	サローネリリコ馬車道 スペランツァ・コンサート	津野 絢音
2026年4月16日	千葉	船橋支部支部総会ゲスト演奏	稲沢 朋華
2026年5月3日~5日	東京	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026LFJ エリアコンサート@丸の内	稲沢朋華、津野絢音、高見真智人
2026年5月17日	東京	ヤマハ銀座コンサートサロン グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年6月7日	大阪	ロート会館コンサート	稲沢 朋華
2026年7月	東京	カワイ表参道コンサートサロン 特級入賞者コンサート	稲沢 朋華
2026年7月7日	東京	カワイ参道コンサートサロン 特級グランプリ受賞記念リサイタル	稲沢 朋華
2026年7月22日~31日	ポーランド	ポーランドナウンチェフ音楽祭	稲沢 朋華
2026年7月31日	東京	La Salle F コンサート	南 杏佳
2026年8月7日	神奈川	サローネリリコ馬車道 スペランツァ・コンサート	加藤 皓介
2026年12月4日	東京	サローネリリコ馬車道 スペランツァ・コンサート	稲沢 朋華
2026年12月13日	東京	第一生命ホール ごほうびクラシック	稲沢 朋華

※ 2026年3月末時点

特級とは

ビティナ・ピアノコンペティションの最高峰「特級」は、年齢不問で、国際舞台を目指すピアニストが挑むステージです。リサイタル形式の演奏、新曲課題、協奏曲での共演など、世界のコンクール水準のプログラムを通じて、参加者は演奏家としての力を多角的に問われます。

特級は、単なるコンクールにとどまらず、若きピアニストが学習者からプロフェッショナルへと羽ばたく転換点でもあります。聴衆賞やオンライン聴衆賞を通じて、聴く人・応援する人もまた、ピアニストの成長とともに見守る存在となります。

特級クラウドファンディングは、こうした若き才能を全国へ、そして世界へと送り出すための取り組みです。皆さまからのご支援を力に、入賞者たちは各地で演奏を重ね、次の世代の子どもたちへ音楽の喜びと憧れを届けてまいります。

会費について ～会員からのご寄付～

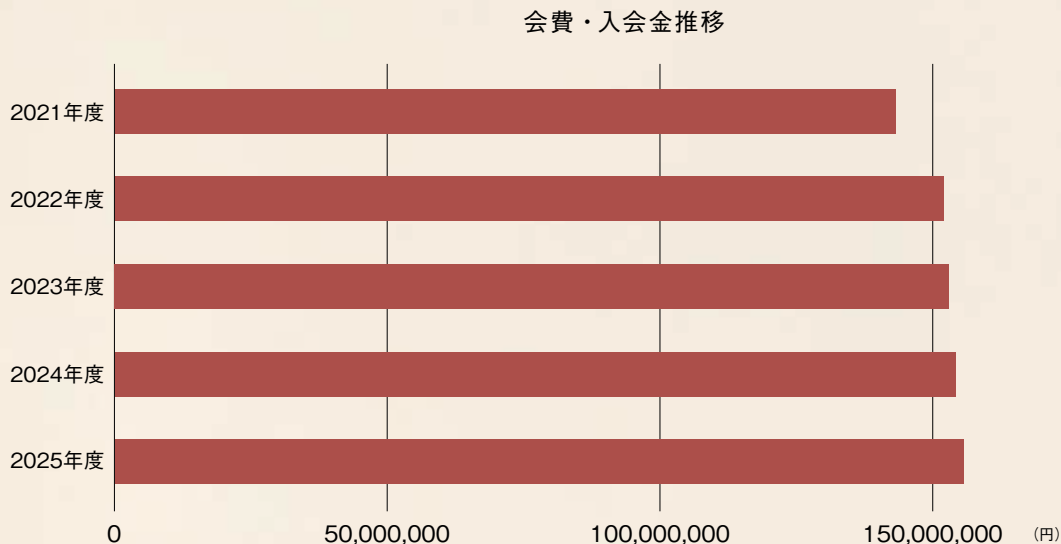
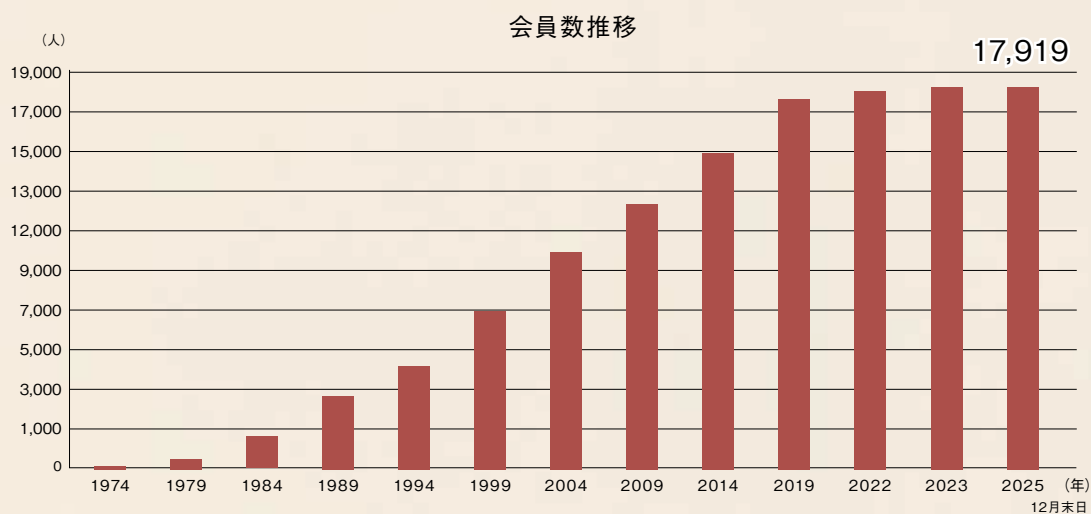
会費総額 154,920,000 円 会員数 17,919 名 新規会員数：1,096 名

「音楽がつなげる豊かな人生」をビジョンに掲げる私共の活動に、日頃より深いご理解とご賛同、そして多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆さまから頂戴する会費は、当協会の活動を推進するための大切なご支援と捉え、有効に活用させていただいております。

今年度の会費収入につきましては、2024年度と比較して841,000円の増額となりました。昨年度に引き続き、郵送コストの削減に努めるとともに、皆さまにより長く会員としてご継続いただけるよう、会費のお支払いにもご利用いただけるギフトカードの使い勝手を改善するなど、工夫を重ねてまいりました。

また、会員の皆さまには、コンペティションやステップ、提携コンクールの運営、支部・ステーション活動、勉強会の実施をはじめ、審査員やアドバイザー、講師、また各種委員会活動など、多岐にわたる場面でお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

そして、ピティナは2026年度に創設60周年という大きな節目を迎えます。私たちがここまで歩みを進めることができましたのも、ひとえにピティナという組織を形作り、鮮やかに彩ってくださった会員の皆さまお一人おひとりの情熱とあたたかいご支援の賜物です。これまでの長きにわたる歩みに深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



会員の皆さまへの日々の感謝を込めたサービス拡充の一環として、現在、Webサイトの視認性向上およびマイページの機能拡充・利便性向上を進めております。

また、ピティナの活動をより広く知っていただくため、どなたでもご視聴いただけるインスタライブを不定期で開催するほか、新入会員向けの交流会や、特定のテーマを設けた会員向け交流会なども実施しております。

これからの未来に向けて、今後の会員サービスに対するご要望やご意見がございましたら、ぜひお気軽にお寄せいただけますと幸いです。



Instagram
ピティナ公式
アカウントはこちら

団体会員 ～団体会員からのご寄付～

団体会員としてピティナの活動を支えてくださっている団体の皆さまに、心より御礼申し上げます。2025年度は、新しく3社/団体がご入会くださいました。

■楽器

 株式会社 ヤマハミュージックジャパン	 株式会社 河合楽器製作所	 ローランド株式会社	 スタインウェイ・ジャパン 株式会社	 ファツィオリジャパン 株式会社	 株式会社 ベヒシュタイン・ジャパン	 カシオ計算機株式会社
 株式会社コルグ	 株式会社ひらせ	 鈴木楽器販売株式会社	 株式会社川本ピアノサービス	 ピアノバンク株式会社	 株式会社山響楽器店 スター楽器株式会社	
 伸和ピアノ株式会社						

■音楽大学

 学校法人 国立音楽大学	 学校法人東京聖徳学園 聖徳大学	 学校法人三室戸学園 東邦音楽大学	 学校法人東成学園 昭和音楽大学	 学校法人武蔵野音楽学園 武蔵野音楽大学	 学校法人同期学園 名古屋音楽大学	 学校法人大阪音楽大学
 学校法人御船学園 平成音楽大学	 学校法人 エリザベト音楽大学	 学校法人金城学院 金城学院大学	 学校法人須賀学園 宇都宮短期大学	 学校法人名古屋自由学院 名古屋芸術大学	 学校法人東京音楽大学	 学校法人桐朋学園 桐朋学園大学

■楽譜

 株式会社全音楽譜出版社	 株式会社音楽之友社	 株式会社 Gakken	 株式会社ヤマハミュージック エンタテインメントホールディングス	 株式会社 リットーミュージック	 株式会社 ドレミ楽譜出版社
 株式会社松沢書店	 株式会社春秋社	 株式会社東音企画			

■企業・音楽団体・その他

 株式会社アコースティック デザインシステム	 株式会社カナオカ工芸	 共立ラインサービス 株式会社	 ヒノキ新薬株式会社	 Piascore 株式会社	 FineAllies (ファインアライズ) 株式会社	 一般社団法人 日本音楽脳育協会
 一般社団法人 日本弦楽指導者協会 (JASTA)	 特定非営利活動法人 リトミック研究センター	 リトルピアニスト 株式会社	 かすみミュージックスクール	 一般社団法人 日本ピアノ調律師協会	 一般社団法人 日本音楽療法学会	 SHIBUYA HALL & STUDIO 株式会社シブガイ 渋谷ホール&スタジオ
 公益財団法人音楽文化創造	 株式会社長谷工総合開発	 一般社団法人 日本こども音楽教育協会	 公益財団法人 ソニー音楽財団	 TWEED DRESS 株式会社ツイード	 株式会社 アール・エイチ・ワイ	 ピアノ販売部門ホームページ制作 株式会社ワールドスタンダード 株式会社ワールドスタンダード
 株式会社力匠	 SPECIAL VENUE MUSIC AWARDS スペシャルヴェニュー 国際音楽コンクール	 Blue-T Records 株式会社	 DRESCO 株式会社			

I ピティナの活動

コンペティション



指導者数

4,477名

協力審査員数

のべ858名

予選参加組数

のべ約26,769組

予選～本選地区数
(動画地区含)

356地区

ピティナ・ピアノコンペティションは、バロック、クラシック、ロマン、近現代の四期にわたる精選された課題曲を学ぶことを通じて、各段階のピアノ学習者に、体系的な学びとステージ経験の機会を提供しています。同時に本事業は、ピアノ指導者にとっても、指導内容を見直し、発展させていく場として継続的に機能しています。



第49回となる2025年度は、予選273地区、本選84地区、全国大会は8月17日から22日にかけて開催され、予選には26,769人／組が参加しました。また、総計4,477名の指導者にご活用いただき、そのうち404名は初めて指導の場として本コンペティションを利用してくださいました。

さらに、6年ぶりに開催された全国大会祝賀会には、ANA インターコンチネンタルホテル東京に全国から1,100名を超える参加者、指導者、関係者が集いました。オンライン化や効率化が進む時代にあっても、顔の見える関係を大切にしながら音楽教育を支えてきたピティナの組織的な力を、象徴的に示す場となりました。

後援：文部科学省、東京都（全国大会）

褒賞協力：ヒノキ新薬、スタインウェイ・ジャパン株式会社、公益財団法人福田靖子賞基金

ステップ



指導者数

5,116名

協力アドバイザー数

のべ755名

参加組数

のべ42,273組

地区数

633地区

他人との比較や順位による評価は行わず、一人ひとりの音楽との向き合い方をサポートする、すべてのピアノ学習者・愛好家のための公開ステージです。生涯学習を後押しする仕組みとして、演奏技術の良否ではなく「ピアノを続けること」を表彰する独自の「継続表彰」制度があります。

また、ステップでは、「アドバイザー」と呼ばれる指導者・演奏家が各地に派遣され、出演者全員の演奏に対してコメントシートが贈られます。各地の指導者が全国を行き交うこの仕組みが、地域間のピアノ・音楽関係者のつながりを生み出しています。

アドバイザーはコメントを贈るだけでなく、ステップの中で入場無料で開催するコンサート（「トークコンサート」）や参加者のレッスンを実施することもあります。さらに、2024年度に新たに登場した、アドバイザーと出演者が交流する時間を重視する「サロン型ステップ」は、2025年度には各地で大きな広がりを見せました。演奏だけでなく、アドバイザーとの関わりから生まれる経験が大きな魅力となっています。

ステップの運営は「ステーション」と呼ばれる、地域のピアノ指導者による独立会計のグループが担っています。ステーションの数は全国で543にものぼります。

参加者、アドバイザー、実施事務局、それぞれがステップを通して地域の音楽活動を盛り上げています。

後援：文部科学省



提携コンクール



申込総数
31,197件
※新規申込数：7,882件

対象コンクール・イベント
60種類

地区数
429地区
※うち新規 15 種類・26 地区

ピティナ会員や関係団体が主催するコンクールの申込受付代行サービスを提供し、ピアノ学習者がステージを経験する機会を全国各地で充足させています。参加者はコンペティションやステップ参加時と同様に「ステージポイント」を得ることができ、継続的な学習のモチベーションとなっています。



2025年度は新たに15のコンクール・イベントと提携し、年間申込数は事業開始以来初の3万件を突破、開催地区も全国で400超と過去最大規模を更新しました。ピティナにおける「第三のステージ」としての地位を確立した一年になりました。

今年度はコンクールという枠組みを超え、より広い「表現の場」を目指して演奏会やコンサートとの提携を本格始動しました。「スタインウェイ・コンクール in Japan」や「全国大学生ピアノ選手権」といった多様なコンクールに加え、「支部主催の入賞者記念コンサート」や「HAREtoKE ピアノ演奏会」などとの提携により、目標に応じた柔軟なステージ選択が可能になりました。大人同士の交流の場である「グランミューズ・サロン」も着実に拡大しています。21名のピアニスト・会員によって計51地区で開催のべ431名が参加しました。作曲家の徳山美奈子氏を招き、名曲「ムジカ・ナラ」を本人との対話を通じて学ぶ贅沢な企画も実施されました。個別の特長を持った提携コンクールが加わってピティナのステージ総体を作り上げることで、多様な学習機会が保持され、新たな音楽の繋がりを生み出しています。

セミナー（セミナー広報支援、eラーニング）



セミナー掲載数
706地区
eラーニングコンテンツ制作数
448件

登録者数
5,214名
※内 YouTube メンバーシップ登録者
504名

ピアノ指導者の自己研鑽をサポートするため、主にピアノ指導法やコンクール課題曲の解説講座など、地域のニーズに応じたセミナーの広報支援を行っております。

近年では、オンラインや後日配信といった受講形態の多様化により、時間や場所にとらわれずどなたでも学びやすくなった一方で、実地に集うからこそ得られる「体感を伴う学び」の重要性も改めて高まっています。今後も、多くの方に多種多様なセミナー情報をお届けできるよう、一層の広報支援に努めてまいります。



eラーニングは、場所だけでなく、時間や回数の制限なく受講できるサブスクリプション型の講座配信サービスです。YouTubeメンバーシップでもeラーニングのコンテンツを視聴できます。1カ月のみの利用も可能で、2025年のコンペティション時期には過去最大の625名の登録がありました。コンペティション課題曲の解説動画はもちろん、教材活用法や指導の工夫、音楽理論といった実践的なコンテンツを毎週新たに公開しており、先生方の日常的な学びに寄り添うアップデートを続けています。

指導者ライセンス



開催数
49地区
受験者数
のべ**858**名
全級合格者数
27名

指導実技・演奏実技・筆記試験・エッセイの4種類の試験科目を通じて、ピアノ指導者の自己研鑽を応援する検定システムです。ピアノを指導している方やピアノの先生を目指す方なら、どなたでも受験可能です。

2025年度はライセンスの受験者数が過去最多を記録いたしました。指導者の先生方の学びの輪が着実に広がっていることを実感しております。

また「レッスン見学」においては、40名の講師の皆さまにご協力いただき、計307名の方にご参加いただきました。本制度は、会員指導者の皆さまが講師の普段のレッスンを見学して指導実技を研修するものであり、日々のレッスンにおける悩み相談や、指導の振り返りの場としても広くご活用いただいています。2026年度もより一層の発展を目指してまいります。



コンサート

コンサート登録数
1,185公演

※うち関係者のコンサート広報
支援数：800公演

コンサート事業は、コンペティション・ステップ・ピアノ曲事典等のピティナの事業に関連して開催されるほか、学校・公共ホール・サロン・楽器店・オープンスペースなど公益的な活動も行われています。音楽との出会い、多様な人々の交流を促進します。バラエティ豊かに全国各地で展開されたほか、海外公演への派遣など国際的な支援も行われました。コンサートによる地域協業の取り組みは、アーティスト・地域のコーディネーター・聴衆がともに価値を循環させる場となっています。

入賞者記念コンサート

コンペティションで優秀な成績を収めた演奏者への褒賞として開催されるコンサート。ソロ・デュオ部門、グランミューズ部門、A2級入賞者、全国各地の支部主催の入賞者記念コンサート、また特級入賞者には特級ガラコンサートや特級グランド・コンチェルトなど、多くの入賞者を称える舞台が用意されています。43公演を実施。



トークコンサート

各地のステップと同日・同会場でステップ参加者の演奏の合間に開催するベテランのアドバイザーによるコンサート。入場無料で充実した内容をお届けし、地域の方もどなたでも気軽に立ち寄ることができます。319公演を実施。

公開録音コンサート

ピアノ曲事典の演奏音源を増やすための収録現場を一般公開する連続コンサート・シリーズです。2026年3月末時点で通算331回を数えています。

2025年度は21公演を開催し、268曲の新規音源を獲得しました。



学校クラスコンサート

小学校の音楽の授業へコンサートを届けます。音楽室の近い距離で生の演奏を体験し、楽器の周りに集まったり演奏者と共演するなど子どもたちの豊かな音楽体験を育みます。2025年度はのべ45校（児童3,604名）にて実施。

提携コンサート

音楽祭やホール、オーケストラ等、外部団体と協力しながら推進するコンサート。ラ・フォル・ジュルネ東京丸の内エリアコンサート他、神戸市・大阪市等の自治体や企業団体と連携するなど43公演を実施。



OPEN PIANO PROJECT

2022年に始動した「OPEN PIANO PROJECT」は、地域と人を音楽でつなぎ、ピアノの魅力と可能性を広げる取り組みです。2025年度も自治体・地域団体・教育機関等との連携により、各地で多彩な活動を展開しました。

大阪府堺市では、堺市役所 21 階展望ロビーのリニューアルイベントにあわせてコンサートを開催。堺の町並みを一望で

きる空間で、地域の方々に音楽を届けました。栃木県では、栃木駅構内のストリートピアノを活用した「街かどピアノマラソン」を実施し、子どもから大人まで幅広い世代が演奏を披露。また「いちご王国・栃木の日」記念イベントでは、県内在住のコンペティション全国大会入賞者が「県庁 Berry Piano」で演奏しました。

沖縄県与那原町では、ピティナ沖縄支部と与那原町による「まちかどピアノプロジェクト」を継続。町民ラウンジから始まった取り組みは、ホールでのコンサートへと広がり、ピアノソロや連弾、声楽・楽器との共演など、地域に開かれた音楽の場として定着しつつあります。

また東京都では、年齢や経験、障がいの有無を問わず参加できる「HAREtoKE ピアノ演奏会」を開催。5歳から84歳までの出演者が、それぞれの表現を届け、音楽を通じて誰もが自分らしく参加できる場の大切さを示しました。

OPEN PIANO PROJECT は、習う・聴く・弾くといった垣根を越え、誰もが音楽に触れ、自ら表現する楽しさを味わえる場を地域に広げています。ピアノを通じて多様な人々が互いに響き合う、豊かな地域社会の実現を目指しています。



これまでのレポート



角野隼斗 UPRIGHT PIANO PROJECT ～ Piano for Myself

2023年7月に始動した「角野隼斗 UPRIGHT PIANO PROJECT ～ Piano for Myself」は、ピアニスト角野隼斗さんの発案・監修のもと、特別仕様のアップライトピアノを全国各地に届け、誰もが自由に演奏できる場を創出する取り組みです。2025年度は第Ⅱ期として、全国各地で新たな展開を迎えました。

アップライトピアノプロジェクト
これまでのレポート

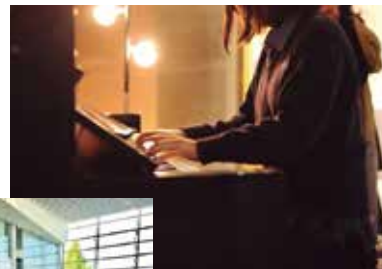


第Ⅱ期では、東京・アーク・カラヤン広場での「こども音楽フェスティバル 2025」をはじめ、千葉県君津市民文化ホール、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、福井県越前市、横浜みなとみらいホールなど、地域の文化施設や音楽祭と連携して実施。自由演奏やコンサート、地域ならではの企画を通じ、子どもから大人まで多くの人がかていんピアノに触れました。

千葉県君津市では、角野さんが愛用する「かていんピアノ」と、地域ゆかりの歴史的な「松本ピアノ」が並ぶ特別な機会となり、親子連れを中心に多くの参加者が演奏を楽しみました。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールでは、湖を望むロビーやホワイエで演奏体験が行われ、ホールならではの開かれた空間に、やわらかなピアノの音色が広がりました。

また、朋優学院高等学校、青山学院大学、東京・広尾の La Salle F など、学校や日常に近い空間での展開も広がりました。生徒や学生、地域の人々が自由にピアノを弾き、聴き合うことで、音楽をきっかけとした自然な交流が生まれています。

副題「Piano for Myself」には、「誰かのため」ではなく「自分自身の心と向き合う音楽」の価値を伝えたいという角野さんの想いが込められています。第Ⅱ期を通じて、かていんピアノはホールや広場、学校、サロンなど多様な場所に広がり、音楽と人をつなぐ新たな場を全国に生み出しています。



Vision

音楽がつなげる豊かな人生

「社会」という言葉を用いたビジョンを掲げる団体は数多くありますが、ピティナでは「一人ひとりの人生」に焦点を当てました。生徒一人ひとりの成長と日々向き合っている職業を支えていること、そして音楽は、そもそも社会的なインパクトの前に個人の内省的なインパクトが大きいものであるという考えを表しています。

「社会」は「一人ひとり」の集合体であって、「一人ひとり」が豊かにならなければ、「社会」の豊かさも生まれません。そしてその「豊かさ」は、人と人がつながることで生まれていきます。

音楽がこの「つながり」を生む媒体として非常に優れていることは、ピティナのネットワークが約17,000人の会員・650の活動拠点という規模まで発展してきた半世紀以上の歴史に見ることができます。

しかし、この豊かさがまだ届けられていない人もたくさんいます。音楽を通じた「つながり」をさらに多くの人に届け、一人ひとりの豊かな人生、ひいては社会の豊かさの実現を目指して、活動を拡充していきます。

Mission

1. 指導者が共に学び続ける場をつくる

創立当初から引き継がれる「教える人こそ学び続ける」という志のもと、指導者自身の成長を支える事業を推進・開発します。指導者一人ひとりの学びを促進する事業のうえに、地域ごとの指導者の学び合い、生徒と先生の学び合い、地域間での学び合いなど、様々な関係性の中でのつながりが広がる仕組みを構築し、全国に広がっていきます。

2. 未来を拓く人をそだてる

ピアノ学習者一人ひとりのピアノに向き合うモチベーションは多様であり、ピアニストを目指し本格的に学ぶ人もいれば、純粋に楽しみとして弾く人もいます。それぞれの能力・個性・興味に応じたピアノとの向き合い方をサポートする事業を、多角的に展開していきます。そして、音楽を通じて磨いた素養をもって、音楽に限らず多様な分野で自らの人生を豊かに切り拓いていく人を育てます。

3. 地域コミュニティをつくる

全国の音楽人材が、民間教育・文化芸術の担い手として地域コミュニティに貢献していけるよう、行政・学校・企業等の地域の組織との連携や、地域に入りやすいコンテンツ開発を推進していきます。複雑化する社会課題や孤独・孤立の様相を鑑みると、「地域」という単位の中でのつながりがより一層求められてきます。ピアノ・音楽というコンテンツを通して、地域の人々のつながりを強化します。

4. 時代の変化をとりいれる

社会課題の現場や異なる分野・セクターの情報を積極的に音楽教育業界に取り入れ、その時代に求められるピアノ・音楽教育のコンテンツ開発やシステム構築をリードします。個人事業主の多いピアノ指導者個人、あるいは「ピアノ」「音楽教育」という分野だけで豊かな社会を目指すのではなく、他分野・他セクターとの連携をほかり、ピアノ・音楽教育の果たす役割をアップデートしていきます。

ご支援のお願い



特級

1. 特級寄付基金

特級の価値を未来へつなぐ、継続的な支援

特級寄付基金は、特級入賞者の活躍を支え、特級という取り組みを未来へつないでいくための基金です。

第50回ピティナ・ピアノコンペティションを記念して創設され、ピアノ教育のさらなる振興に向けた「未来への投資」として位置づけられています。皆さまからのご寄付にピティナからの拠出金を合わせて基金を形成し、その運用収益をもとに、審査員が授与する「本賞」に加え、グランプリ受賞者を1年間継続的に支援する「特級グランプリ活動支援金」に活用します。

様々な経験と研鑽に多くの投資が必要なこの時期を、皆さまの応援の力をお借りして支え、安心して次のステージへ送り出すための支援金として、ご協力者のお名前とともにお渡ししたいと思います。

第50回ピティナ・ピアノコンペティション特級賞金（予定）

未来のピアニストの歩みを、長い目で支えていただくためのご支援です。

本賞	
グランプリ	1,500,000 円
銀賞	500,000 円
銅賞	200,000 円

グランプリ活動支援金
1,200,000 円

※毎月10万円を1年間継続してお支払いいたします。

※ファイナリスト4名には、上記とは別途「ファイナル出演料」として15万円をおしほらいたします



詳しくはこちら

2. 特級クラウドファンディング

応援の気持ちを、出場者へ直接届ける支援

特級クラウドファンディングは、演奏を聴いた方の応援を、より直接的な形で出場者へ届ける仕組みです。

2025年のプロジェクトでは、**オンライン聴衆賞**と、**入賞者の全国への派遣・活動支援**を主な目的として実施されました。

ご支援は、入賞者記念コンサートや社会貢献活動への派遣などを通して全国の子どもたちへ音色を届ける活動や、海外マスタークラス派遣など、入賞者の次の一歩を支える活動に活用されます。オンライン聴衆賞は、「愛されるピアニストを育てたい」という想いから生まれました。二次予選からファイナルまでオンライン視聴者が毎日投票でき、ご支援金は結果に応じて入賞者へ分配されます。

コンクールのその先へ。

ピアニストの成長に伴走する、参加型の応援です。

※2021年より例年夏に実施しております。2026年の実施については決定次第お知らせいたします。



詳しくはこちら

各事業への寄付受付

クラウドファンディング以外にも、ピティナの各事業へのご支援を恒常的に受け付けております。寄付したい事業を指定してご寄付いただくことも、ピティナの活動全体へご寄付いただくことも可能です。

現在、公益性の高い4つの事業「ピアノ教室紹介」「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「公益財団法人 福田靖子賞基金」の寄付を募集しております。

引き続き、音楽教育の発展と文化芸術振興にご協力いただけますと幸いです。

恒常的な寄付

クレジットカード決済

下記のQRコードから必要事項を入力し、決済情報をご入力ください。



銀行振込

- ① 下記のQRコードから寄付者情報・寄付金額等の情報をご申告ください。
- ② 下記の口座に①で申告した金額をお振り込みください。



振込先	三井住友銀行 巣鴨支店 普通 0634941 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
留意事項	振込人名義の冒頭に、アルファベットで「CG」をつけてお振り込みください。

郵便振替

郵便局にある払込取扱票でご寄付いただけます。下記の必要事項を記入の上、お振込ください。

口座番号	00140-4-96845
加入者名	ピティナ催物口
金額	寄付金額をご自由に設定してください。

通信欄	① 「ピティナ寄付」と明記してください。 ② 支援する事業名をご記入ください。「ピアノ教室紹介」「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「公益財団法人 福田靖子賞基金」の4つの事業から選択いただけます。事業の記載がない場合は、事業指定のない寄付としてお預かりさせていただきます。 ③ 領収書発行をご希望の場合は、「領収書発行希望」とご記入ください。 ④ ご芳名のウェブサイト等での公表を希望しない場合は、「匿名希望」とご記入ください。
ご依頼人	寄付者のお名前・ご住所・ご連絡先を明記してください。

指導者賞による寄付

コンペティションまたはステップで優秀な成績をおさめられた指導者、また指導者として自己研鑽に励んでいる指導者を表彰し、受賞された皆さまには、ピティナ会費（または入会費）として使用できる10,000円を指導者賞賞金としてご用意しております。こちらの賞金をご寄付いただくことも可能です。受賞者宛てにお送りする封筒にご案内と手続き方法を同封しております。

会員として支援

会員・団体会員となることで年会費という形でピティナを継続的にご支援いただくことができます。



入会のご案内



団体会員のご案内

お宝エイド お宝エイド

ご自宅の不用品を換金して寄付する仕組み「お宝エイド」と提携しています。使わなくなった楽器・バッグや時計等のブランド品・はがきや切手などを、指定の住所に不用品を送付するだけでピティナへのご寄付になります。ご自宅のお片付けのついでに、手軽にご支援いただける方法です。

寄付できる品物や手続きの詳細は、右記の二次元コードからウェブサイトをご参照ください。



遺贈寄付

遺贈寄付とは、故人の財産からNPOなどの活動団体に寄付をすることです。一般的には、財産の寄付を希望する方が生前のうちに遺贈寄付の意志を遺言に記す方法で、ご逝去後に寄付が実行されます。ピティナでは2020年より、専門家のサポートのもと、遺贈寄付の受入体制を整備しております。ご自身の人生で築かれた財産の一部を、音楽教育の発展や文化振興に寄与する形で残したいとお考えの方は、お気軽にご相談ください。





ピティナ創立60周年 ご支援のお願い

ピティナ・ピアノコンペティション第50回
ピティナ・ピアノステップ30年目
特級寄付基金設立

寄付方法のご案内

60周年記念ウェブサイトよりお申込みください。

(1) Webでお申込み（クレジット決済）

60周年記念ウェブサイトよりお申込み



必要事項とクレジットカード情報を入力して決済



詳細はこちら

(2) 銀行振込でお申込み

60周年記念ウェブサイトより事前申請



申告したお名前と金額で
下記口座へお振込み

三井住友銀行 巣鴨支店 普通 0634941 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
※振込人名義の冒頭に、「60」をつけてお振り込みください

(3) 郵便振替でお申込み

郵便局にて備え付けの郵便振替用紙に記入してお振込み

No.00170-1-157370 加入者名：ピティナ編集部

※通信欄に下記を明記ください。

- ① 60周年記念事業寄付金（ ）口 ② 特級活動支援への寄付（ ）口 ③ 掲載用ご芳名
④ メールアドレス ⑤ ピティナ ID（お持ちの方）

「特級寄付基金」を設立します

第50回ピティナ・ピアノコンペティションの開催を記念し、新たに「特級寄付基金」を設立いたします。この基金は、特級に挑戦したピアニストたちへの賞金を、ピティナの収入の増減によらず、長く安定して持続的に支えるための新しい仕組みです。皆さまからのご寄付にピティナ本体からの拠出金を合わせて基金をつくり、その運用収益をもとにして、審査員により授与される「本賞」に加え、新たにグランプリ受賞者を1年間継続的に支援する「特級グランプリ活動支援金」へと活用させていただきます。

【ご案内】

本基金は、法人法上の「基金制度」に該当するものではありません。
ご寄付は返還の対象とはなりませんので、趣旨をご理解のうえ、ご支援をお願い申し上げます。



ピティナ・トピックス
@ptna.topics



ピティナ
ptna_web



ピティナ
@ptna_web



YouTube ピティナ・ピアノチャンネル

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-1- 3F Tel.03-3944-1583

最新情報は 🔍